

平成30年度 高原町立後川内中学校 学校関係者評価書

4段階評価 [1:改善を要する 2:やや期待を下回る 3:ほぼ期待通り 4:期待以上]

	本年度の重点目標	学校自己評価の結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	学校関係 者評価	学校関係者評価コメント
確かな学力	【確かな学力の育成】 1 指導力の工夫・改善と個別指導の充実	毎月、授業内容確認の5教科学力コンテスト(小テスト)を行っている。アンケート結果では、「自主的に勉強するようになった。」「昨年より勉強時間が増えた。」などの意見が多く、主体的に学ぼうとする意識がでてきた。ただ、合格率の低下などもあり、学力コンテストを更に充実させたい。小学校の高学年も一緒に実施できればと考えている。	3.2	3.5	5教科学力コンテスト(小テスト)の成果がでていることが分かった。また、その結果を基に、生徒が「分かる・できる」ように授業の工夫・改善を図っていることも分かった。次年度からは少人数なので、更に個に応じた指導を充実させて、全生徒に確かな学力を身に付けさせてほしい。そのためには、生徒が学習に取り組む意識改革が必要だと思う。 読書活動もより充実させ、本が好きな生徒に育ってほしい。
	2 読書活動の推進(学校司書との連携)	明るく借りやすい図書室の環境整備や、中学生にお勧めの新刊本の紹介などに取り組んだ。更に学校司書との連携を図っていききたい。なお、貸出数も昨年度に比べて、10冊以上増えている。	3.6		
	3 進路指導・キャリア教育の推進	職場体験学習や農業体験、職業講話、進路に関する学級活動等で望ましい職業観が身に付きつつあるが、ゲストティーチャーの活用とちょっとした体験学習の機会を更に増やしていきたい。	3.3		
豊かな心	【生徒指導の充実と協調性の育成】 1 生徒理解を基盤にした自己肯定感の育成	週に1回、生徒の情報交換を行い、全職員の共通理解のもと支援・援助を行っている。生徒会活動もそれぞれの生徒が意欲的に取り組み、責任をもって計画・運営にあたっている。それにより、積極性や協調性が少しずつ身についてきた生徒がいる。清掃は、時間一杯、無言でよく取り組んでいる。いじめ調査は毎月行い、状況を確認し生徒の実態に応じて、事後確認まで含め支援を行った。今後も生徒の自己有用感を高め、自主性や協調性が身に付くように支援・援助を心がけたい。	3.4	3.5	学校での出来事や活動の予定について「生徒会だより」で活動の内容を知ることができた。下校の様子も集団で帰るので安心である。また、昨年度に比べて、あいさつがしっかりできるようになってきたので、今後も続けてほしい。生徒同士の助け合いや啓発など1年間の成長が著しい。 次年度も生徒の実態把握と困り感に寄り添う支援をしてほしい。さらに、コミュニケーションのとり方や心の健康についての取組も期待したい。 普段から自転車点検などを含め、交通安全への意識を高め、事故のないようにしていただきたい。
	2 生徒会活動の活性化				
	3 心の教育の充実と美化意識の高揚	生徒の実態を把握し、職員間や保護者との共通理解に十分に努めた。今後もSC、SSW、特別支援教育チーフコーディネーターと連携して支援したい。	3.5		
	4 生徒の実態把握と困り感に寄り添う支援		3.5		
	5 避難訓練等による防災・安全意識の高揚		引き渡し等の避難訓練は、4月と1月に実施できた。交通安全教室は5月に実施できたが、自転車点検が1月からの実施となった。また、通学路の確認も行った。		
健やかな体	【健康な体づくりと体力の向上】 1 体力の向上や食育の充実	自分の体力の現状を把握し伸ばしたい項目を設定させ、体育の授業や部活動の中でトレーニングを実施している。弁当の日や給食感謝集会で栄養教諭の講話を実施するなど、食の大切さや感謝の心を育てている。	3.5	3.8	日頃のトレーニングの成果がでている。外部からみて生徒自身がたくましく成長している様子が見えてくる。タブレットなどに依存してしまう脳の在り方など医療面からも生徒たちに指導してほしい。食育の取組を聞いて、食の大切さを意識している様子が見えてくる。
	2 保健面や情報端末使用等の啓発推進	ほけんだよりを教室で読み合わせるなど活用している。PTA座談会では、小林警察署より「スマートフォンの使い方」について啓発を行った。	3.7		
特色ある教育	【後川内ならではの教育の推進】 1 地域の教育資源や教育力を生かした教育の活性化	情報発信はHPや学校だよりで定期的に行っている。地域の教育資源活用として、井ノ原遺跡発掘体験や浜ノ瀬ダム見学などを実施した。東雲太鼓は地域等で発表することができた。この活動を通して、生徒たちは、やりがいを感じている。小中連携については、乗り入れ授業や合同行事などでよい成果を残している。校内研修、生徒指導面、学校評議員会で更に連携を図りたい。	3.7	3.9	「学校だより」を見て、地域の教育資源活用を素晴らしいと思っている。東雲太鼓は、回を増すごとに成果を感じ、生徒のまとまりを感じる。後川内夏祭りでは、中学生の活動が重きをなしている。今後も頑張してほしい。
	2 小中一貫教育の推進				
【総評】	1 本年度の取組について 知・徳・体・特色ある教育で、明確なビジョンの基に、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる人材をすべての教育活動を通して育てている。5教科学力コンテスト(小テスト)の成果がみられたが、問題づくりや評価方法の工夫が必要である。また、生徒活動の活性化は、生徒の主体性や協調性の育成に有効だった。				
	2 次年度への改善に向けて 学力を高めるための授業や学力コンテストの工夫・改善及び校内研修を充実していく。積極的な生徒指導や生徒会活動等に取り組み、安全で楽しい学校生活が送れるように、生徒、職員の意識の高揚と校内体制の整備を行う。さらに、家庭・地域・関係機関と連携しながら、社会に開かれた教育課程を進めたい。				

SC:スクールカウンセラー SSW:スクールソーシャルワーカー HP:ホームページ